

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

存在意義・志

社会課題に挑む精神で、人と自然が健やかにめぐる食の未来を育んでいく。

営業利益
350億円海外事業営業利益
70億円国内成長領域営業利益
150億円調整後ROE
9.0%以上

② 中長期の経営戦略

1. 成長の果実の育成と収穫

海外展開強化、機能付加商品、プラントベースフード参入による新成長領域の確立。

3. リジェネラティブな酪農の実現

国内酪農基盤の強化から再生段階へ。自給飼料需要拡大の研究・ビジネス参入。

2. 乳の産業価値を高める構造変革

チーズ徹底拡大と白物飲料プレゼンス拡大。なかしべつ・阿見工場へ約475億円投資。

4. 社会とのつながりの進化

乳で培った知見や機能を社会へ還元。他業界への応用ビジネス展開を推進。

③ 対処すべき課題

① PBR改善と工場老朽化対応

- ・ PBRが1倍割れの状態継続。目標1倍超達成が課題。
- ・ 工場老朽化に伴う具体的かつ有効な生産体制変革方針の構築が必要。

② 食の持続性実現と酪農基盤強化

- ・ 無脂乳固形分（SNF）需要拡大への業界課題への対応。
- ・ 少子高齢化と食料供給不安定化への対応。

③ 新領域進出と海外事業拡大

- ・ プラントベースフード、代替食品事業の確立。2026年度工場稼働予定。
- ・ 東南アジアを拠点としたチーズ事業拡大と海外利益20%構成達成。

面接で使えるポイント

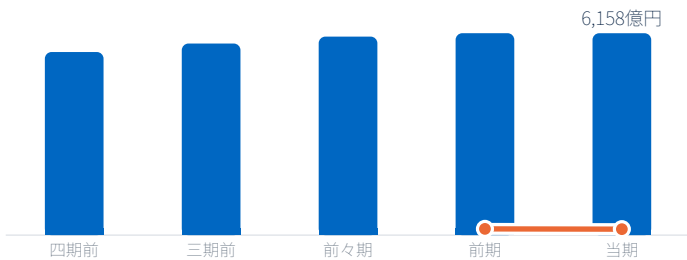
- ・ 2025年に創業100周年を迎える中、次の100年に向けて企業理念を再構築。
- ・ Next Design 2030で2030年度営業利益350億円、調整後ROE9.0%以上を目標。
- ・ なかしべつ・阿見工場への約475億円投資で生産体制を進化。6年間で約3,200億円の戦略的投資配分で企業価値向上を加速。

雪印メグミルク株式会社

食料品 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31日 | 連結…

証券コード 2270

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
6,158億円

営業利益率
3.0%

財務健康度
38点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 59.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
773万円

食料品内 29位/120社

平均年齢
41.6歳

食料品内 52位/121社

平均勤続
16.0年

食料品内 48位/121社

女性管理職
10.3%

食料品内 58位/106社

男性育休
97.0%

食料品内 41位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考:「雪印メグミルク株式会社」様 2026/27シーズン 明治安

雪印メグミルク株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

